

## 機械の日イベント 公開講座「工学・科学技術と親しむ会」第12回実施報告

埼玉工業大学では、「機械の日」のイベントとして公開講座「工学・科学技術と親しむ会」を8月23日（土）に開催した。今年度は、「★謎解きサイエンスクエスト★ゴムコプターをつくって謎キングを倒せ!!!」というイベントで、小学生対象（保護者付き添い可能）の楽しく手を動かして考えながら“工学・科学”および“ものづくり”を体験学習できる講座となっている。本イベントの目的は、将来に亘って日本の科学技術が向上することを目指し、子供の時から科学に慣れ親しんでもらうことにある。

本公開講座は毎年テーマを変えて開催しており、今年で第12回目を迎えた。今回はゴム動力のヘリコプター（ゴムコプター）を題材に選び、昨年に引き続いて謎解き（頭の体操クイズ）を交えながら、自ら考える楽しさとものづくりの体験学習をしてもらった。イベント当日は、小学生26名が謎解きとゴムコプター製作にチャレンジした。

第12回公開講座「工学・科学技術と親しむ会」を行った結果を以下に報告する。

日 時	2014年8月23日（土）13:00～15:00
場 所	埼玉工業大学 30号館 3012教室（定員40名、参加費無料）
題 名	★謎解きサイエンスクエスト★ゴムコプターをつくって謎キングを倒せ!!!
講 師	長谷 亜蘭（埼玉工業大学 講師）

### ◆講演概要とゴムコプター製作

主催者側（講師・学生）は11:00に大学に集合し、13:00に開会を宣言した。最初に主催側の挨拶として、本イベントの趣旨とスポンサーである機械学会と機械の日について説明した。つぎに、講師がスライドを用いて「謎解きサイエンスクエスト」と称した今回の講座概要とストーリーを解説した。その後、資料として配布した謎（頭の体操クイズ）を各自で解いてもらい、正解するともらえるゴムコプター製作に必要な部品を集めてもらった。また、その一部の部品を各自で好きなように色付けや装飾してもらった。すべての部品を全員が集め終わった後に、大学生の指導のもとでゴムコプターを製作し、高く飛ぶように工夫をしてもらった。ゴムコプターの完成後、参加者全員で一緒にゴムコプターを飛ばして、「謎キングを倒せ!!!」という本講座のストーリーの最終目的を果たすことができた。最後に講師から本イベントの総括を述べ、15:00に本イベントを終了とした。

### ◆参加者数

小学生	26名	参加費無料
保護者・兄妹+取材・見学	18名+4名	聴講および製作支援、送迎のため
合計	48名	



写真1：講演風景



写真2：謎解きの様子



写真3：謎解き最終問題にチャレンジ



写真4：ゴムコプターの製作風景



写真5：ゴムコプターを全員で飛ばす様子

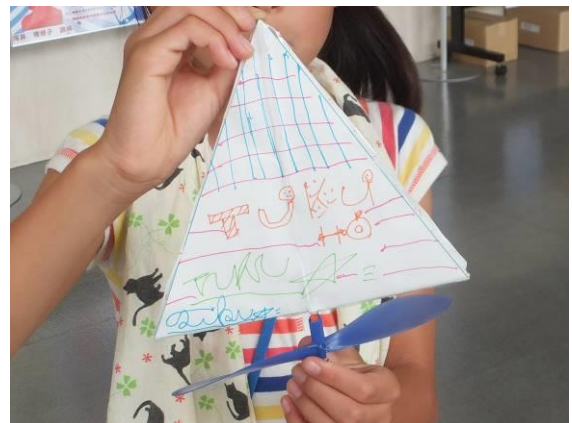


写真6：ゴムコプター完成品

#### ◆反省点と所感

昨年度に引き続いて“謎解き”を一つの雰囲気づくりのツールとして用いて、“工学・科学”や“ものづくり”の体験学習効果をより一層発揮させることを狙い、本イベントを実施した。ストーリーづくりや準備は大変であったが、思い通りの世界観をつくることができたと思う。謎解きに関しても子ども達がとてもいきいきと取り組み、その世界観にしっかり入り込んで楽しそうにゴムコプターを飛ばす姿を見て、大きな達成感を得ることができた。この取組みを今後も継続して、より多くの子ども達に工学・科学の楽しさを伝えられればと思う。〔報告書作成 長谷 亜蘭〕